



ふるさと教育 取組事例

学校名	松江市立宍道中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
2	総合	生き方トーク@宍道	公民館、地域の大人
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の大人との対話を通して、多様な価値観や生き方に触れることで、自分の生き方やあり方を考えるきっかけを作る。 ・地域の大人との交流を通して、対話力を育てる。 	
<p>1 取組の概要</p> <p>第2学年を対象とし、地域の大人との対話を通して様々な価値観に触れ、自分の“あり方”や“生き方”について考える。企画運営に関しては、学校と公民館が連携して行った。当日は、大人1人に対して生徒2～3人の小グループでテーマトークやライフチャートを用いて交流した。活動のまとめでは、生徒が「明日からできるひと宣言」を考え発表する。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の大人との対話を通して、多様な価値観や生き方に触れることで、自分の生き方やあり方を考えるきっかけを作り、自分自身の生活や将来について「～みたいになりたい」「～を大事にして生活しよう」といった意識の変容につなげる。 ・地域の大人との交流を通して、対話力を身につける。 <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</p> <p>保護者や教員といった限られた大人としか接する機会のない生徒たちが、様々な年代や職種の地域の大人と交流することで、多様な価値観や生き方に触れるきっかけとなった。一方的に話を聞く講義式ではなく、テーマトークやライフチャートといった対話する材料を事前に準備し、小グループで地域の参加者と中学生が気軽に話せるような雰囲気を作ることで、生徒の方から自発的な発言や質問が出たりと、対話を楽しむ姿が見られた。</p> <p>活動のまとめの際には、交流から得たことをもとに一人一人が「明日からできるひと宣言カード」に前向きな思いを書いており、生徒自身の生活や将来への考えをより良い方向に変化させることにもつながった。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
<p>4 課題や今後の展望</p> <p>この活動は、共有した一つの目標に向かって学校と地域が連携・協働して学習活動を行う「社会に開かれた教育課程の実現」につながるものであり、今後も継続して取り組んでいくことで、学校と地域の人々の相互理解や信頼関係を深め、ふるさとに愛着を持つ生徒の育成にも成果があると考えている。継続していくための基盤づくりが今後の課題としてあげられる。</p>			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。
(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)